

## カリキュラム

<b>B. 横断的課題</b>	<b>リスクマネジメントによる損失防止対策</b>
組織マネジメント	

コースのねらい	リスクマネジメントに関する考え方や方法を理解することで、リスクによる損失の回避及び損失拡大の防止を行い、不確定要素の軽減及び排除を目指す。
---------	---

	「基本項目」	「主な内容」	訓練時間 (H)
講義内容	1	<p><b>リスクマネジメントとは</b></p> <p>(1) リスクとリスクマネジメント ・企業や組織・団体を取り巻きリスクを顕在化し、最小のコストでリスクの発生そのものを抑制、或いはリスクの発生時の被害や影響を最小限に抑制することを管理する手法を解説する。</p> <p>(2) リスクの予測 ・リスクを、「リスク発生の抑制の可否」、「日常業務内での発生の有無」、をキーとしたカテゴリに分類し、カテゴリ別にリスクの発生予測を解説する。</p> <p>(3) リスク分析とリスク評価 ・特定したリスクを「企業への影響度」、「発生可能性」の評価基準により定量的に分析し、リスクマップ(相対的評価ツール)を作成して評価する手法を解説する。</p> <p>(4) 組織的な体制の構築 ・リスクマネジメントを効果的に運用するため、組織間の調整役を担う横断的組織(全社のリスクマネジメントプロジェクト)職能/担当を設置する必要性を解説する。</p>	1.5
	2	<p><b>リスク分析手法</b></p> <p>(1) リスクマネジメント全般について ・基本要素1「リスクマネジメントとは」を理解した上で、様々な要因で発生する企業活動に影響を及ぼすリスクについて、平常時に全社的に取り組む必要のある手法全般を演習を交えて解説する。</p> <p>(2) コンプライアンスに係るリスクマネジメント ・社員、職場、会社が起こす不正・不祥事の根本的な発生原因、その対策、そしてコンプライアンスの重要性を、過去に発生した多数の事例を参考にしながら演習を交えて解説する。</p> <p>(3) 事業継続計画(BCP)に係るリスクマネジメント ・近年、多発する自然災害、感染症拡大、サイバーテロなど、通常の企業活動とは関係なく発生し、かつ重大な影響を及ぼす事象について、その実態の理解と対策を演習を交えて解説する。</p> <p>(4) ソーシャルリスクマネジメントという考え方 ・自然環境、社会環境の変化により、リスクが社会化、多様化、巨大化、国際化してきたため、一企業のみでの対応では不可避になったリスクの考え方とその対応を解説する。</p>	3.0
	演習	<p>■ 「リスク分析手法」の(1)、(2)、(3)で学んだ内容の理解を深めるため、下記の演習を実施する。</p> <p>1. 自己体験によるリスクの発見、およびその対処法によるリスク感性の検証と、過去の多様な企業活動における顕著な失敗事例/対極の成功事例の評価。</p> <p>2. 企業活動の底辺に潜むコンプライアンスについて、日常的事例(パワハラなど)による討論。</p> <p>3. 自社の事業継続計画(BCP)に対する取組みの確認と標準フォーマットによるBCPの簡易版の作成。</p>	
合計時間			6.0

カリキュラム作成のポイント
・日常業務(平常時)において、企業が直面するリスクに対して、リスクマネジメントのサイクルを適切に回す感覚を身に付けることができるようにすること。

講師から一言
リスクマネジメントによる損失防止対策をテーマにした研修。効果的なリスク分析手法と対策を身につけるカリキュラムです。